



みはらふくし情報 11月号

令和5(2023)年
11月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

赤い羽根共同募金スタート ～だいわ元気まつりでの募金活動～

大和地域センター



バザーの様子(写真上)と、子どもたちから募金を受け取る民生委員(写真左)

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。社協は10月15日(日)に開催された「だいわ元気まつり」に参加し、赤い羽根共同募金の街頭募金活動を行いました。活動には、今年も「第11区民生委員児童委員協議会」と大和町内のボランティア団体から成る「大和ボランティア連絡協議会(以下、大和V連)」にご協力いただきました。

会場では、募金箱の設置と遊休品バザーを行い、来場者に協力を呼びかけました。皆さまのご協力で、今年は昨年を上回る金額が集まりました。集まったお金は、三原市内の福祉活動に配分される他、県内で大規模な災害が起きた際に、災害時の支援としても使われます。

民生委員の和氣泰臣会長は「共同募金は元々民生委員が始めた活動という経緯もあり、第11区民生委員児童委員協議会として、今後とも募金活動を積極的に推進してまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします」と話しました。

また、大和V連会長の松本富士枝さんは「地域の人や会員の皆さんから、お米や野菜をはじめ、生活雑貨などを多数提供いただき、今年も何とかバザーを行うことができました。集まったお金で大和町の福祉活動がより豊かになっていったらうれしいです」と話しました。

社協各地域センターでは、令和6年3月31日まで募金を受け付けています。引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

子どもとの関わりをみんなで考える

～地域子育て支援サロン研修交流会～

本郷地域センター



親の気持ちに寄り添いつつも、子どもを尊重する接し方について教える講師の南さん。(写真左中央)



本郷地域センターでは、10月17日(火)に、地域子育て支援サロンの研修交流会を開催しました。当日は、本郷で活動するサロンの支援者に加えて、サロンに参加する親子ら合わせて、18人が参加され、歌に合わせて体を動かした後、反抗期の子どもとの関わりについて学習しました。

講師の「あそび工房ゆめみ」の南夢未さんは、保育士の視点から、子どもの思いを尊重することや、子どもの味方であることの重要性を話しました。その後の意見交換では「今日学んだことを家族で共有したい」とみんなで子育てについて考える機会となりました。

社協では、子育て世代の仲間づくりや地域とのつながりをつくる「地域子育て支援サロン活動」を応援しています。活動については、各地域センターまでお問い合わせください。

役立ち情報

子どもから高齢者まで自熱！ 「棒サッカー」ゲーム

棒を使って、ボールをゴールまで運ぶゲームです。イスに座ってでき、反射神経や集中力を使うので、認知症予防としても期待できるとか♪「棒サッカー」で“スポーツの秋”を楽しみましょう☆

【準備物】

- ・新聞紙を丸めて作った棒
- ・柔らかいボール(ビーチボールなど)
- ・ゴール用の箱 ※目印があれば何でもOK!



【進め方】

- ①二チームに分かれてそれぞれ一列に並び、自分のチームのゴールを確認します。
- ②ボールを列の中央に置き、試合スタート♪
- ③ゴールしたら、列の中央にボールを戻して再スタート。
- ④制限時間は、前半と後半で三分間ずつ。より多くゴールしたチームの勝ち☆

【注意点】

- ・前のめりでイスから落ちないように注意しましょう。

